

2009年8月20日

社団法人 日本建築学会
会長 佐藤 滋 殿

ダイビル株式会社
代表取締役社長 佐藤 博之



「ダイビル（旧大阪ビルディング）の保存に関する要望書」について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、弊社の事業につきましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、過日に頂戴しました標記要望書につきましては、ダイビル（旧大阪ビルディング）の歴史的価値を高く評価いただくとともに、保存に関する技術的支援を協力いただける旨のお申し出を頂戴し、誠にありがとうございます。

ダイビルの建替え計画は、既にご承知のとおり、1997年に関西電力株式会社、関電不動産株式会社とともに中之島3丁目共同開発として開始して以来、今年3月末には第2期工事である中之島ダイビルの建設が完了し、現在は第3期工事である中之島ダイビル・ウエスト（仮称）の着手に向けて設計者と協議を進めているところであります。

弊社発祥の地であり、大阪を代表するオフィスビルの草分け的存在である当ビルを解体しなければならないことは誠に残念ではありますが、今年9月に齢84歳を迎える当ビルは、内外装だけでなく設備面も老朽化が進み、防災等安全性の観点からも引続きテナントビルとして運営していくことは大変難しい状況にあることから、解体せざるを得ないと判断した次第でございます。

弊社といたしましては、出来る限り当ビルのイメージを中之島ダイビル・ウエスト（仮称）に継承したいと考えており、現在内外の仕上げ材や装飾品について保存・再利用の可能性を探るべく建物調査を進めております。また、記録として解体前の現況写真や図面等を残すことも検討しております。

何卒ご理解とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具